

# 巖流島 豆知識

①正式な名称は下関市大字彦島宇船島648番地。島の形が舟に似ていることから、正式な名称は「船島／ふなしま」となっています。武蔵に敗れた小次郎の流派「巖流」をとって、巖流島と呼ばれるようになりました。

②決闘が行われた当時の巖流島は、現在の1/6。決闘が行われた当時の巖流島の面積は、わずか17,000㎡。その後、明治から大正にかけて埋め立て工事が行われ、現在では当時の約6倍にあたる103,000㎡になりました。

③展望広場にある武蔵VS小次郎像は、小次郎像が2002年12月11日、武蔵像が2003年4月14日に除幕されました。武蔵像の完成が遅れたのは、決闘に遅刻したという史実にあわせてかも……。

④現在は無人島になった巖流島ですが、昭和48年までは人が住んでいました。

## INFORMATION 展望広場

関門海峡の中央に浮かぶ巖流島は、まさに「海上公園」。関門橋や海峡を行き交う船を眺めながら、のんびり過ごしてみませんか。



## INFORMATION 憩いの広場

コンサートなどに利用されるステージを備えた開放的なスペース。島内には、この広場を中心に、散策道と4カ所の休憩所が整備されています。

## INFORMATION バーベキューサイト(憩いの広場)

関門海峡の雄大な景観を眺めつつ、決闘の聖地でバーベキューを楽しんでいただけます。

## INFORMATION 舟島神社

巖流島(舟島)の神様が奉られている穴場スポット。決闘の聖地、巖流島の神様に祈願すれば、勝負ごとでも成就するかも。

## INFORMATION 佐々木巖流之碑

碑文に「船島開鑿工事成功之際建立」とあります。1910(明治43)年10月31日島の中央に建てられましたが今は少し位置がかわっています。碑は高さ120cm、幅65cm、厚さ45cmの自然石で造られています。

## INFORMATION 巖流必勝タヌキに逢える…かも?

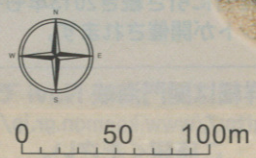
巖流島にはいつの頃からか、タヌキが住むようになりました。近くの彦島から泳いできたという話もありますが、もしかすると小次郎の弟子が待っていたといわれる「彦島弟子待(でしまつ)」から、弟子たちがかけて渡ってきたのかもしれないね。



必勝タヌキ 島の人気者のタヌキ君。タヌキは「他を抜く」と言われ、勝負には縁起のよい動物。逢えれば必勝まちがいなし!!

## INFORMATION 昔の巖流島

決闘があった当時の巖流島の面積は、現在の約1/6でした。決闘には、武蔵・小次郎以外にも検使・警護の侍・医師が待機しており、厳粛な雰囲気の中で両雄の闘いが行われました。



## INFORMATION 巖流島文学碑

アクリル板に、画家古館充臣氏がえがく、小次郎と武蔵の決闘の場面が焼付けられています。碑文「白い雲のわいている空に、小次郎の面影が見える。この後も絶えず兎禰(とね：村上元三作『佐々木小次郎』)に登場する小次郎の恋人の名)の眼に浮かんで消えることのないであろう小次郎の生きている面影があった。」(村上元三作「佐々木小次郎」より)

## INFORMATION 遊歩道

関門海峡の真ん中から関門橋を眺めることができるのは、ここ巖流島だけ! 棧橋から展望台まで、松林の中の海峡散歩をお楽しみください。



## INFORMATION 武蔵VS小次郎像

武蔵像は下関市の廣瀬直樹氏、小次郎像は小次郎とゆかりのある岩国市の彫刻家・村重勝久氏がデザインしました。除幕式にはNHK大河ドラマで武蔵役・小次郎役を演じた市川海老蔵さん、松岡昌宏さんも出席されました。海峡を背景にしたこの躍動感溢れる像は、巖流島のシンボルとして観光客の皆様にも愛されています。



## INFORMATION 人工海浜

決闘の場所をイメージして造られた白い砂浜。浜辺には武蔵が乗ってきた舟も再現されています。(遊泳禁止)

## ご協力ください!

- ・巖流島にはごみ箱がありません。ごみは各自でお持ち帰りください。
- ・島内は禁煙です。
- ・危険ですから、護岸には降りないでください。

宮本武蔵と佐々木小次郎

「決闘の聖地」

# 巖流島



武蔵も小次郎も吉田松陰も坂本龍馬も  
斎藤茂吉もアントニオ猪木もマサ斎藤も……  
皆が訪れた決闘の聖地「巖流島」  
敗者への想いが息づく島  
四〇〇年余りの時を越えて新たな歴史が刻まれる……

関門海峡観光推進協議会

下関市観光政策課 083-231-1350  
北九州市観光・コンベンション課 093-582-2054  
<http://www.kanmon.gr.jp/>



# 巖流島の決闘

1612(慶長17)年4月13日に、長門の国船島(現在の巖流島)で宮本武蔵(当時29歳)と佐々木小次郎が決闘をしました。武蔵は、細川興長らの決闘の承諾を受け、小次郎に決闘を申し込みました。約束は辰の刻(午前8時)でしたが、武蔵の到着が遅れ島に着いたのは、巳の刻(午前10時)になりました。小次郎は波打ち際で武蔵を迎えました。遅参に怒った小次郎は鞘を投げ捨て、刃渡り三尺はありそうな刀を抜きました。武蔵の前頭部に振り下ろされたが、刀は武蔵の鉢巻の結び目を切っただけで、かわりに武蔵の長い櫂(かい)が小次郎の頭を打ち砕き、小次郎は、ばたりと倒れました。武蔵はどどめを刺すことも忘れ舟へ飛び乗り、下関へと急ぎました。敗者を想う地元の人々は敗れた小次郎の流派をとって後に「巖流島」と呼ぶようになりました。

※武蔵と小次郎の決闘については諸説あります。

# 下関 SHIMONOSEKI

## 巖流島トレジャーハンティング

武蔵・小次郎の決闘の舞台である決闘の聖地「巖流島」等を巡りながら、宝の謎を解き明かそう！  
まずは唐戸地区の主要観光施設などに設置されているトレジャーカードを手に入れよう！

- 開催日時 平成25年7月1日(月)～9月30日(月)の毎日 宝のありかへは10時～18時30分の間に到着してください。(予定) ※荒天で巖流島直行便運休時は中止
- 開催場所 唐戸地区・巖流島(下関市唐戸町～船島)

## 巖流島上陸認定証発行！

唐戸棧橋そばの関門汽船発券所で、巖流島奉行が発行する「巖流島上陸認定証」を購入できます。認定証に返信先等を記入の上、同発券所に設置しているポストへ投函してください。旅の記念やお友達のお土産にも最適です。(¥100/郵送料込み)

## 直行便航路 所要時間 約10分

関門汽船株		巖流島発		門司港発	
大人:往復400円	小児:無料	下関発	巖流島発	門司港発	巖流島発
14	54	9	39	25	9
34	10	19	59	05	45
14	54	11	39	25	11
34	12	19	59	05	45
14	54	13	39	25	13
34	14	19	59	05	45
14	54	15	39	25	15
34	16	19	59	05	45

●必要に応じて臨時便を運航します。●雨天等の場合はやむを得ず休止する場合があります。●予約はできません。乗車券は当日限り有効。●土・日・祝などの多客期には乗りきれない場合があります。予めご了承ください。●繁忙期などダイヤが異なる場合があります。

株チャレンジ		巖流島上陸チャーター船	
大人:往復400円	小児:無料	運航会社	関門汽船株
05	35	9	15
05	35	10	15
05	35	11	15
05	35	12	15
05	35	13	15
05	35	14	15
05	35	15	15
		16	

●必要に応じて臨時便を運航します。運賃・運航時刻等は変更される場合があります。詳細は各船会社へお問い合わせ下さい。

## 巖流島へのアクセスは...

- 下関側**
  - 下関ICより海響館方面、唐戸棧橋より船10分(近隣有料駐車場有り)
  - JR下関駅よりバス7分唐戸下車、唐戸棧橋より船10分
  - JR新下関駅よりバス25分唐戸下車、唐戸棧橋より船10分
- 門司側**
  - 門司港ICより車で5分、マリンゲートもじより船10分(近隣有料駐車場有り)
  - JR門司港駅より徒歩2分、マリンゲートもじより船10分

## 巖流島対決

尖の山山頂展望台にある顔出し看板。ここから、巖流島を眺望することが出来ます。

## 歴史体験型アプリ 巖流島対決 歴史絵巻

数々の歴史の舞台となった関門海峡を一望できる景観を活用し語り継がれる歴史の数々を体験型アプリケーションとして再現しました。歴史と景観を同時に眺め・体感できる、海峡ゆめタワーへ是非お越しください。

- 料金 大人 600円 小児(小学生)300円 団体(30人以上)1割引 割引(100人以上)2割引
- 休業日 1月第4土曜日のみ休館
- 一般財団法人山口県国際総合センター ☎083-231-5600

海峡メッセ下関にある海峡ゆめタワーから巖流島を眺望することが出来ます。



小次郎の弟子たちが待って、決闘の行方を見守っていたところといわれている。

# MOJI 門司

## 関門海峡ミュージアム(海峡ドラマシップ)

高さ18mの「海峡アトリウム」に展開するダイナミックな映像や、著名人形美術家の作品による「海峡歴史回廊」など、関門海峡の歴史を体感できるミュージアムです。

◎「マリンゲートもじ」から徒歩4分◎大人500円・小中学生200円(海峡こども広場1才以上100円) 無料エリアあり◎9:00～17:00(入館16:30まで) ◎年5回(不定期) ☎093-331-6700

## 宮本武蔵の碑・佐々木小次郎の碑

門司区と小倉北区の境に手向山(たむけやま)という小高い山があります。この山は現在、公園として整備され、公園の中を散歩するといくつかの史跡にめぐり合うことができます。1654(承応3)年、武蔵の養子、宮本伊織が建てた武蔵顕彰碑。また1951(昭和26)年には、村上元三氏の小説の完成を記念して建てられた佐々木小次郎の碑などがあります。

### 武蔵巖流島年表

- 1584(天正12)年 武蔵、美作国鞆甘村宮本にて出生。
- 1600(慶長5)年 関ヶ原の戦い、武蔵、西軍として参戦。
- 1612(慶長17)年 4月13日 宮本武蔵と佐々木小次郎が決闘。
- 1645(正保2)年 武蔵、没す。
- 1849(嘉永2)年 吉田松陰が上陸。小次郎の墓に参る。
- 1867(慶応3)年 坂本龍馬とおりようが巖流島で花火を上げる。
- 1910(明治43)年 「佐々木巖流之碑」建立。
- 1921(大正10)年 斎藤茂吉が島渡る。
- 1973(昭和48)年 「わが心、たく悲しみの島に命をさしし人をしおもむ」島に残った最後の老人が島を去り、居住者ゼロとなる。
- 1987(昭和62)年 アントニオ猪木とササキのプロレスマッチ典行。
- 1990(平成2)年 巖流島で岡山県大原町(武蔵出生地)と福井県今立町(小次郎出生地)が、下関市熊本市両市長の立会いのもと、姉妹結縁に調印。
- 2002(平成14)年 12月11日 小次郎像完成。大河ドラマ「武蔵」のTOKIOの松岡昌宏氏臨席のもと除幕式開催。
- 2003(平成15)年 1月 NHK大河ドラマ「武蔵 MUSASHI」放映開始。4月14日 武蔵像完成。大河ドラマ「武蔵」の市川新之助(現市川海老蔵氏)臨席のもと除幕式開催。
- 2012(平成24)年 武蔵・小次郎巖流島決闘400周年

## 武蔵・小次郎決闘の寸劇



大人気の観光寸劇「武蔵と小次郎」が巖流島決闘400周年(2012年)を記念してリニューアル!新しい武蔵と小次郎の決闘をお楽しみください。

- 公演日時 平成25年3月23日(土)～6月23日(日)の土・日・祝 ※5月3日・4日の下関海峡まつり時を除く 11:30～、13:00～、14:00～(各回10分程度) ※雨天・荒天時中止
- 公演場所 唐戸市場横 カモンワフ海側ステージ(下関市唐戸町6-1)

## 武蔵・小次郎決闘の寸劇

子供達に大人気! 巖流島マスコットキャラクターの「しものせき武蔵くん」「がんりゅう小次郎くん」が決闘をコミカルに再現します。記念撮影も大歓迎です!

- 公演日時 平成25年10月5日(土)～11月24日(日)の土・日・祝 11:30～、13:00～、14:00～(各回10分程度) ※雨天・荒天時中止
- 公演場所 唐戸市場横 カモンワフ海側ステージ(下関市唐戸町6-1)

## 武蔵と小次郎決闘400周年記念 巖流島決闘十番勝負(2012年)

武蔵と小次郎決闘400周年を記念して、プロレスや少年剣道大会、アマチュア将棋名人戦など様々なバトルイベントが開催されました。

「決闘の聖地」として復活した巖流島を舞台に引き続き2013年も各種イベントが開催されます。

詳細は関門海峡 Navi で (<http://www.kanmon.gr.jp/>) ご確認ください。

